

# 2020年度中間期の連結決算概要

詳細は、当社ホームページ(<https://pr.fujitsu.com/jp/ir/finance/>)に掲載の「2020年度 第2四半期 連結決算概要」をご参照ください。

## 決算ハイライト (単位: 億円)

	2019年度中間期	2020年度中間期		2019年度中間期	2020年度中間期
売上収益	18,287	16,318	当期利益	636	471
営業利益	710	622	フリー・キャッシュ・フロー	673	1,127

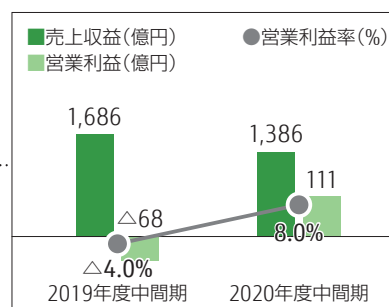
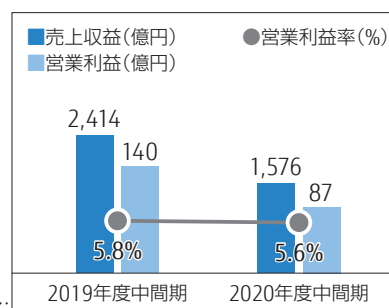
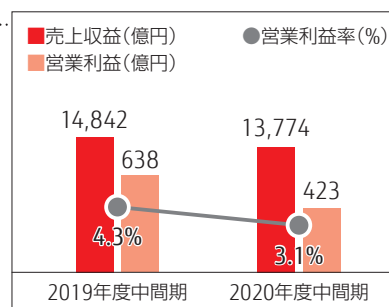
## セグメント別の概況

### テクノロジーソリューション

「テクノロジーソリューション」の売上収益は、新型コロナウイルス感染症や海外での事業再編による影響で、減収となりました。ソリューション・サービスでは、公共・社会インフラの売上は堅調だったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による減収に加え、ヘルスケアで前年度の大口商談がなくなった反動や、前年度好調だったパソコンのセットアップ・展開支援等のハード一体型サービスの売上減少の影響で、減収となりました。システムプラットフォームでは、システムプロダクトにおける新型コロナウイルス感染症の影響による減収を、スーパーコンピュータ富岳やネットワークプロダクトにおける5G基地局の売上でカバーし、増収となりました。海外リージョンでは、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、欧州や北米での事業再編の影響を受け、減収となりました。

営業利益は、5G基地局の増収効果に加え、営業費用の効率化や開発費の効率化を進めましたが、新型コロナウイルス感染症による減収が大きく影響し、前年同期比で減益となりました。

	売上収益内訳		営業利益内訳	
	2019年度中間期	2020年度中間期	2019年度中間期	2020年度中間期
ソリューション・サービス	8,722	7,955	615	542
システムプラットフォーム	2,887	2,917	98	73
海外リージョン	3,687	3,349	28	△8
共通	△454	△448	△104	△183



### ユビキタスソリューション

「ユビキタスソリューション」の売上収益は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてテレワーク対応による需要増はありましたが、前年同期のWindows7のサポート期限終了に対応した買い替え需要の反動により大幅な減収となりました。

営業利益は、減収影響により、前年同期比で減益となりました。

### デバイスソリューション

「デバイスソリューション」の売上収益は、電子部品を中心に増収となりましたが、前年度に実施した事業再編の影響が大きく、全体としては減収です。

営業利益は、前年度に計上したビジネスモデル変革費用等がなくなった影響や電子部品の増収効果および採算性の向上により、前年同期比で増益となりました。

(注) 当社は、2020年度から報告セグメントの区分を変更しており、売上収益および営業利益は、過年度の数字を変更後のセグメントに組み替えて表示しています。

## 株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式の総数	207,001,821株
資本金	324,625,075,685円
株主数	115,664名(前年度末比2,830名減)

## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	17,199	8.59
いちごトラスト・ピーティーイー・ リミテッド	14,899	7.44
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	11,555	5.77
富士電機株式会社	5,949	2.97
富士通株式会社従業員持株会	4,616	2.31
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	4,020	2.01
BNYM TREATY DTT 15	3,677	1.84
朝日生命保険相互会社	3,518	1.76
株式会社日本カストディ銀行 (信託口7)	3,359	1.68
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	3,218	1.61

(注) 持株比率は自己株式を除いて計算しております。